

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

東山田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

エリア内にある地区センター、コミュニティハウス（2館）、国際プール、民間のスポーツクラブとそれぞれの施設ごとに地域住民が運動から趣味活動まで幅広い活用の様子が見られる。また、農地もところどころに見られ畑仕事にいそしむ住民の姿を見ることもでき無人売り場等の活用も見られる。

【東山田地区】東山田 1 丁目から 4 丁目は港北ニュータウンに属し、東山田町は古くからの町並みを一部に残している。長く東山田地区に居住する住民と港北ニュータウンに居住する比較的新しい住民とが連合町内会の取り組みを通し相互に協力しながら安心安全を目指す町づくりがなされている。地域福祉保健計画に関する取り組み等は連合として目標を意識し、達成に向けての取り組みは単位町内会ごとの活動を実施しており、住民は属している町内会以外の取り組みにも自由に参加できる様子が見える。

【山田地区】すみれが丘町内会、南山田町内会、北山田町内会の 3 単位町内会で構成されている。多くのマンションが並び、町内会と自治会それぞれが地域づくりを行っているが、自治会をもたない大型マンションや町内会自治会に参加していない賃貸の住居も多数存在する。また各町内会が大きいため連合としての活動に困難さを感じている様子が見える。すみれが丘は、最も高齢化がすすんでいる。町内会の枠組みにとらわれないボランティア活動を実施する構成員がいる。北山田は北山田駅周辺を中心に若い世代の住民が多く子育て地区といえる。学習塾や障害児の放課後デイサービスが増えている。一方で 6 丁目はすみれが丘と並んで高齢者の多い地区となっている。商業振興会の活動も盛んで山田富士公園を活用した祭ではエリアを超えた住民の参加の様子が見られる。町内会の役員は年々若返りを図っており新しい町内会の在り方を模索している様子が見える。南山田は 1 丁目から 3 丁目が港北ニュータウン内に位置し、南山田町が古くからの町並みが残る地域となっている。南山田町は高齢者が多い地域となっている。民生員が中心で月に 1 度カフェが開かれ地域の憩いの場となっている。

【課題】

- ①各地区で交通の便を考慮したつどい場が必要。（交流、介護予防等）
- ②総合相談に見られる傾向として多問題ケースが増えている。
- ③地域の担い手の高齢化に伴う活動の継続の困難さ。
- ④町内会、自治会未加入住民に対する情報伝達、状況把握。課題の早期発見早期対応。住民同士の交流の場が必要。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 1 貸館団体抽選会、外部での事業実施、会議やミーティング等の参加時に相談を受けることができる旨を伝え相談受付に関する周知活動を実施した。
2. 1 をきっかけに障がい者の参加の場についての問い合わせ、障がい者自身のボランティア活動についての相談があり場の提供をすることができた。

(2) 各事業の連携

1. 朝ミーティングを中心に個別支援について情報共有を実施、「お待たせしない地域ケアプラザ」を目指した。
2. 課題のある地域住民について6職種（所長含む）+居宅で情報を共有しサロンやカフェの参加時に実態を把握するように努めた。
3. ミーティングをとおして事業について共有し情報が必要な人に適切に提供できるようにつとめた。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 年度後半に生活支援コーディネーターを配置することがかなわず所長が兼務し事業実施を行った。
2. 概ね月に1度の全体研修では各事業の職員で構成される研修委員会が企画運営を行い、ケアプラザ全体の質の向上を図った。
3. 公正・中立を常とし、ハートページやインフォーマルサービスリスト等を活用し情報提供を行った。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. エリア連絡会を通し事業所との情報交換や質の向上に努めた。
2. 6職種で介護予防、生活支援に関する地域ケア会議（協議体）を実施し新たな活動につなげることができた。
⇒（北山田）介護予防はマップを作成し必要なところに配布予定。
⇒（東山田4丁目）生活支援ボランティアについて話し合いを実施する予定。
3. 介護予防活動班で東山田体操（仮称）をつくり2/27に東山田2丁目のサロンにて第1回目のお披露目を実施予定。
4. 都筑まるっとプロジェクトとの共催事業を通して障がい者団体や近隣の障がい者とつながることができボランティア活動等にむすびつけることができた。

(5) 区行政との協働

1. 地域福祉保健計画を中心に区・社協・COの担当で連絡を密に取り合い情報共有を図った。た、目標の進捗状況についてシートを用いて確認をおこなった。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. まるっとプロジェクトと共催にて6回のカフェと3回の障害講座を実施し、職員だけでなく地域住民にも障害理解を深めることにつながった。
2. 障害児を対象とした事業の回数/年を3回→5回に拡大し、健全児との交流の機会も確保できた。
3. 育メンパパ講座を実施。2回のコースで開催し好評にて終了した。ただし就労状況もあるためか、参加者確保および増員には課題が残る。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 毎月1日に貸館抽選会をおこない空き情報の提供をおこなっている。その際に来所者へケアプラザにて予定している介護予防等の事業を紹介している。
2. 広報紙に貸館についての明記は行うことができなかったが電話や窓口での問合せの対応をおこない、今年度新たに2つの登録団体があった。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. 子育て事業で協力いただいている子育てボランティアに対して、不安解消等を目的とした交流会（1/年）を実施。ボランティアとしての意識向上の様子が見られた。来年度、ボランティアの拡充を図ることを目的に子育てボランティア募集の事業を予定。
2. まるっとPJとの共催にて実施をした障がい講座を実施。東山田中学校区学校支援地域本部の関係者にも参加してもらった。障害への理解を深めるとともにボランティアを募った。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 広報紙やホームページにて地域活動を紹介し、参加者の増員をはかっている。
2. 6職種がそれぞれに関わりのなかで得た情報は地域情報に記載し、更新と情報共有に努めている。概ね月1回のミーティングで状況や対応方法の確認をおこなっている。
3. 随時、情報は更新している。
4. 月1回の委託ミーティングで収集した情報や区役所と区社協と共有をはかっている。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 地域活動の状況を確認しインフォーマルサービスリストへの反映を行った。特に各エリアの立ち寄り場については地域包括支援センターと連携し情報収集・内容の共有を行った。また、これをAyamuに反映した。
2. コーディネーター連絡会前に生活支援体制整備事業の自主勉強会に参加。事例集の作成を実施した。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 6職種で地区アセスメント実施。相談から把握した個別ニーズや地域資源等情報共有し、生活課題やニーズの把握に努めた。
2. 上記の3者以外のケアプラザ事業（特に居宅）と朝カンファレンスの時間を活用し地域資源の情報共有、個別を中心とする課題やニーズ把握に努めた。
3. ケアプラザエリア内の事業所が集まるエリア連絡会の場において地域活動の情報をエリア内事業所と共有することができた。
4. 介護予防ボランティア活動（介護予防活動班）を通して実際に事業所の職員が地域活動に参加しインフォーマルサービスを体験し新たな活動のてがかりになった。

(3) 連携・協議の場

1. 6 職種で介護予防、生活支援に関する地域ケア会議（協議体）を実施し新たな活動につなげることができた。
⇒（北山田）介護予防はマップを作成し必要なところに配布予定。
⇒（東山田 4 丁目）生活支援ボランティアについて話し合いを実施する予定。
2. 介護予防活動班で東山田体操（仮称）をつくり 2/27 に東山田 2 丁目のサロンにて第 1 回目のお披露目を実施予定。また、活動班で地域に出向く参加者は固定しつつあるものの、参加できない事業所の中で自分たちでできること（デイルームの開放等）アイデアをさせる環境をつくることができた。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. コーディネーター連絡会を活用し、広域の地域課題解決に向けた連携を図っている。

4 地域包括支援センター運営事業

（1）総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. インフォーマルサービスリストを配布して、資源の活用について周知した。
以前に比べて、ケアマネジャーからの問合せ受ける場面が増えた。
2. 広く地域関係者や関係機関に向けて、包括支援センターリーフレットを配布し、周知に努めた。総合相談については前年度を上回る実績の予定。
3. 「東山田地域ケアプラザエリア連絡会」を開催し、地域の介護サービス事象所との横の連携を図り、研修会として介護予防、虐待予防について学ぶ機会を構築した。
エリア連絡会には地域の薬局の方にも声かけし、参加いただいた。

② 実態把握

1. 相談傾向について確認。
今後の事業実施へ反映していく予定。
2. 地域の活動に出向き、情報収集を実施。
地域ケア会議など見える化作業を通じて、課題を確認。インフォーマルサービスリストや Ayamu 等を通じて、情報整理を行っていく。

③ 総合相談支援

1. 毎朝、包括・CO・CM でミーティングを行い、相談内容を共有し、担当者が不在でもすぐに対応体制を整えることができた。所内でカンファレンス実施し、各職種の視点から支援に対する意見を出すことで、課題の早期解決に努めた。
2. 必要に応じて、区役所内の多職種とのカンファレンスの開催し、本人のみならず、家族支援を実施した。
3. 一人暮らしの状況で、生活に支障が出てきているがサービス利用に拒否的な方等に対して、見守りやサービスのアプローチとして、訪問を繰り返し実施した。
4. 相談の中で障害分野に関することが増えているため、今年度もまるっとプロジェクトと共催して支援者・地域向けに講座を開催。地域の民生委員や介護サービス事業所担当者の参加もあり、分野を越えたネットワークづくりを行った。
5. 地域の活動（食事会やサロン、カフェや老人会等）に参加し、介護予防講座や相談会等で包括の役割を案内して、身近な相談機関と周知した。

6.すみれが丘会館において、月1回出張相談会、元気づくりステーション「おしゃべり南山田 de ランチ」に合わせ隔月に出張相談会を実施。毎回ではないが1~2組の相談やサロンの利用があった。また、南山田では「サロン越百」の場へ出張相談会を移行して、継続していく予定。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 相談業務の中で対人援助の中心となるケアマネジャーに向けて、区内包括・区社協と共催にて成年後見制度講座を実施した。
2. 区内包括と共催し、弁護士・税理士巡回相談会を実施。相談会では相続についての相談が最も多く、弁護士相談会では内容が多岐にわたった。共催で行った税理士巡回相談会では後見制度と相続についての講義も行った。区内包括を巡回するため、相談者の都合に合わせて相談会の案内や担当エリア外からの参加もあった。
3. 包括内でケース検討し、権利擁護が必要なケースについては、区役所と連携して支援にあたった。

② 高齢者虐待への対応

1. 虐待が疑われるケースについて、速やかに区役所へ報告し、関係者で役割分担をして支援にあたった。
2. 介護者の集いを月1回実施。毎回4~5名程度の参加者あり。主に茶話会を行い、情報交換、仲間作りのできる環境をつくった。新規に認知症介護で悩む家族を誘い、参加いただいた。またケアマネジャーと同行訪問実施し、介護に対する支援を行った。
3. 地域活動で包括の周知をする際、包括のリーフレット配布し、虐待に関する相談も受付けていることを案内実施。地区センターや地域のサロン、食事会等に出向いた際に包括機能を周知した。
4. 2月20日の認知症高齢者等支援ネットワークに参加予定。エリア連絡会にて介護保険サービス事業所に向けて、虐待防止の勉強会を実施した。

③ 認知症

- 区やキャラバン・メイトと認知症サポーター養成講座を実施。地域住民（児童から高齢者まで幅広く）へ認知症の理解や対応等、認知症サポーター養成を行った。
2. 認知症カフェ（コツコツ、ハーモニー）に毎回参加し、専門職にその場で相談できる環境をつくった。毎回ではないが、1~2組の相談を受付けている。
 3. 東山田ボランティア友の会と共催し、認知症ミニフォーラムを開催。54名程度の参加があった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. ケアマネジャーより生活支援ボランティア活動の拡充など意見を確認した。
2. 地域関係者やケアマネジャーに対して「都筑区インフォーマルサービスリスト」を配布。広く地域活動について周知した。
3. 「ケアマネジャー情報交換会」にて民生委員とケアマネジャーの交流会を実施。地域活動や民生委員の状況など地域の実際についてケアマネジャーが理解し、顔の見える関係作りを行った。

②医療・介護の連携推進支援

1. 区内包括、ケアネットつづきと共催で「病院関係者とケアマネジャーの交流会」を実施。日頃の状況から今後の連携の在り方についてワールドカフェ方式で意見交換を行った。昨年と同様に医療機関の連携窓口を記載したシートを更新して、ケアマネジャーへ配布した。
2. ケアプラザ施設協力医、地域連携室担当者にケアマネサロンに参加協力あり。ケアマネジャーへ医療的な知識や連携についてレクチャーいただく。またケアマネジャー対象の病院見学会も実施した。

③ケアマネジャー支援

1. ケアマネジャーからの相談を受け、連携を図りながら支援を実施。ケアマネサロン、ケアマネジャーとの面会や連絡時など声かけを行い、必要時に相談に応じた。解決方法をケアマネジャーと検討し、同行訪問やサービス担当者会議に出席など幅広く対応した。
2. スキルアップや連携目的にケアマネジャー情報交換会を6回実施した。
3. 新任ケアマネジャー研修では居宅主任ケアマネジャーの協力を得て、グループワークを実施。病院関係者とケアマネジャーとの意見交換会ではケアネットつづきケアマネ部会と共催にて連携支援を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 個別ケースケア会議（東山田4）を実施地域ボランティア活用事例として、地域関係者を交えて検討した。
2. 個別ケース地域ケア会議を通じて、挙げられた地域の課題について検討する包括エリアケア会議＝北山田で介護予防を考える包括エリアケア会議を2度実施。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 担当、委託を問わず随時ミニカンファレンスを実施し、支援の方向性、支援方法等話し合い評価を受けられる体制をとることが出来た。
2. 朝ミーティングや随時ミニカンファレンスを行い、日頃から情報共有し、委託先ケアマネジャーからの相談に誰もが対応できる体制の構築に努めた。
3. H30年11月27日に介護予防従事者研修を区役所・5包括共催で実施。（区内約20名のケアマネジャーが参加）
4. 委託の担当者会議に参加した際、委託先CMから相談があった際、介護保険サービス事業所と話をする機会があった際等、適宜インフォーマルサービスについて情報提供を行い、積極的に活用してもらうよう周知を行った。
要介護から要支援認定に更新された方が、訪問介護の回数制限により、週1回の掃除支援をインフォーマルサービスで導入した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<ol style="list-style-type: none">1. 高齢化率が高く、活動が少ない北山田6丁目をターゲットに「ゆるリラ体操」、東山田町で「東山田ラジオ体操」を介護予防普及強化事業として実施。「ゆるリラ体操」は自主化につながらなかったが、活動参加のニーズ把握ができたため次年度の介護予防事業につなげていく。「東山田ラジオ体操」は自主化になったが、活動場所について会場が変更となる可能性がある。2. 自主事業として8月に美術講座を実施。高齢者に限らず広く周知したが、高齢者の参加が少なく次年度の事業内容等を検討していく必要あり。3. 今年度立ち上げはなし。既存の元気づくりステーションにモニタリングに伺い、状況や課題等を把握し地区担当保健師とも共有している。4. 3月に「ラジオ体操指導者講習会」を実施予定。すでに様々な活動で活躍されている方を中心に参加を呼び掛けている。5. 貸館利用団体、地域のサロン、体操教室等に出向き、ハマトレ、コグニサイズ、3A、介護予防に関する講話等を実施し、介護予防普及強化に努めた。6. 生活支援コーディネーターや、エリア内にある介護保険サービス事業所と連携し、「介護予防活動班」として、依頼があった様々な地域活動に出向き、介護予防に関する講話や体操、ゲーム等を実施。7. 本年度、「元気づくりの会」は開催せず。区役所保健師と連携し、会の在り方等を検討していく。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

1. 委託事業者により建物・設備の保守点検や定期清掃を実施。
2. 日常的には職員が日常点検・日常清掃を実施。
3. 施設としては老朽化がすすんでいるが不具合を発見したら速やかに修繕をするように努めている。
4. 備品については台帳にて管理しており年度ごと不具合等を確認している。
5. 横浜市の定める G3 の指定施設ではありませんが同様の対応を実施。

イ 効率的な運営への取組について

1. 当ケアプラザが複合施設であることを活かし修繕、改修、業者清掃、点検について計画的に行い、建物全体で効率的な管理を行うよう努めている。
2. 節電、節水等利用者にも協力を得られることは積極的に協力を得られるよう取り組んでいる。
3. 職員教育によりサービスの質の向上を図りながら、効率的な人員配置を行うも年度途中で生活支援体制整備事業のコーディネーターの異動について補充が叶わなかった。

ウ 苦情受付体制について

1. 当法人の「苦情解決事業規程」に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者および第3者委員を設置。施設内に案内を掲示し、ご意見箱を設置するなど利用者等が申し立てをしやすい環境を作っている。
2. 「よこはま市民利用施設ご意見ダイヤル」等の取組に関し施設内に掲示している。
3. 法人内で苦情解決事業報告会を実施し、第3者委員との意見交換会を実施した。
4. 日頃から苦情のない施設運営を目指し良質なサービス提供のための職員教育を行っている。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 緊急対応マニュアルを整備しそれに沿って対応するようにしている。
2. 防災については、本部防災会議に担当職員が参加し防災計画等作成しそれに基づき合同で防災訓練を年に2回実施。
3. 防犯については閉館時に担当職員が戸締りの確認をし、開館時間外は委託業者が遠隔で管理している。また、事務所2か所に防犯ブザーが設置されており不審者の侵入等に備えている。
4. 事故防止については発生後にヒヤリハット・事故報告を作成し回覧で全職員が確認し再発防止に努めている。対策後の振り返りとして常勤会議で1件1件の確認を実施して意見交換を実施。また、研修委員会を中心に事故発生防止についての研修を年に1度開催し再発防止に努めている。

オ 事故防止への取組について

1. 施設内の危険個所の有無、設備の状態を定期的に点検するほか、日頃から職員全体への危機管理意識の啓発を行った。
2. サービス提供にあたっては、事故の内容に常に留意し必要に応じて援助方法の改善を行っている。
3. ヒヤリ・ハットの報告書は職員間で供覧し、事故情報を共有することで未然に事故を防ぐように役立てる。また、供覧スペースを設け過去の事例をいつでも振り返ることのできる環境を整えている。
4. 安全衛生委員会を中心に、事故内容について集計・分析をおこない 研修会をとおして職員全員でその傾向を把握し再発防止策を検討している。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

1. 当法人の「個人情報保護規定」 および東山田地域ケアプラザの「個人情報保護マニュアル」 に則り、個人情報保護に関する取り組みを実施した。
2. 日常的に朝礼や会議を通して注意喚起を行うほか、年1回研修を行い職員間で周知徹底している。
3. 「個人情報保護に関する方針について」は、施設内に掲示している。
4. 個人情報ファイルやパソコンは施錠できる場所に保管し、退室時は担当者が施錠の確認を行っている。

キ 情報公開への取組について

1. 事業計画・報告、予決算書等を含む法人理事会の資料を常時、閲覧できるようにしている。
2. 横浜市の「情報公開条例」の趣旨に則り、情報開示に取り組んでいる。

ク 人権啓発への取組について

「身体拘束」「認知症」「権利擁護」の研修を通して、当事者の立場に立ち、何が人権侵害にあたるかに気付き、人権侵害をなくすという視点を職員間で共有した。

ケ 環境等への配慮及び取組について

1. ゴミの分別や廃棄物のリサイクルに積極的に取組、廃棄物の減量に努めた。
2. 利用者訪問時はできるだけ車両を利用せず自転車や公共交通機関を利用するよう努めている。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師	2名	}	4名とも地域包括支援センター業務を兼務している。
社会福祉士	1名		
主任ケアマネジャー	1名		

《目標に対する成果等》

- 利用者および家族・介護者の意思を尊重し自立支援にむけた適切な介護予防プランを作成する。
- 事業実施にあたっては 関係機関、地域の保健医療・福祉サービス、ボランティア団体と連携し総合的なサービス提供の調整に努め、特にエリアの介護保険事業所と連携して介護予防普及活動に努める。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 住み慣れた地域で介護予防できるようインフォーマルサービスの情報を常に更新し、プランに取り入れるよう努めている。
- 個人情報の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真學に受け止め改善に努める。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
91	94	90	88	94	97
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96	96	99	102	101	101

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者(主任介護支援専門員) 常勤 1名
 介護支援専門員 常勤 2名 非常勤 1名

《目標に対する成果等》

- 要介護認定を受けた利用者および家族・介護者の意思を尊重し、状態にあわせた適切なプランを作成する。
- ケアプラン実施状況のモニタリング、サービス担当者会議の開催は定期的に行い常に適正なサービス提供がなされるよう取り組む。
- 中重度者の支援困難ケースへの積極的な対応を実施。毎朝のカンファレンス、週1度のミーティングを通して質の高いケアマネジメントになるよう努める。
- 都筑区委託の介護保険要介護認定調査件数は年間120件の契約としている。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 住み慣れた地域で介護予防できるようインフォーマルサービスの情報を常に更新し、プランに取り入れるよう努めている。
- 個人情報の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真學に受け止め改善に努める。

《利用者実績》	5月	6月	7月	8月	9月
※ 単位は省略してください。					【単位：人】
87	82	75	77	79	81
10月	11月	12月	1月	2月	3月
79	83	91	83	86	85

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助 ● 送迎 ● 健康状態の確認 ● 入浴 ● 給食 ● 日常動作訓練
- 介護サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	614円	（要介護2）	725円
（要介護3）	837円	（要介護4）	948円
（要介護5）	1,060円		
- 入浴加算 54円
- 食費負担 700円（特別食750円）
- その他、加算に応じ徴収

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 午前9時35分～午後3時35分

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤）
- 生活相談員 2名（常勤）
- 介護職員 10名（非常勤）
- 看護職員 3名（非常勤）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤・看護職兼務）

《目標に対する成果等》

- 利用者および介護者の意思を尊重し活動プログラムを工夫する。
- 通所介護計画を工夫するとともに、レクリエーションプログラムを多様化し実施する。
- 信頼される介護技術、知識を身につけるためケース検討や介護技術の勉強会を実施する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ブンネメソッドを取り入れ音楽を通じた介護予防に取り組んでいる。
- 概ね月に1度地域ボランティアの協力を得てイベント開催している。
- 個人情報保護の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真學に受け止め改善に努める。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
323	370	367	375	382	349
10月	11月	12月	1月	2月	3月
400	401	365	352	332	383

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助 ● 送迎 ● 健康状態の確認 ● 入浴 ● 給食 ● 日常動作訓練

● 介護サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（事業対象者）
（要支援1） 1,766円
（要支援2） 3,621円
- 入浴加算 54円
- 食費負担 700円（特別食750円）
- その他、加算に応じ徴収

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 午前9時35分～午後3時35分

《職員体制》

管理者 1名（常勤：兼務）
 生活相談員 2名（常勤）
 介護職員 10名（非常勤）
 看護職員 3名（非常勤）
 機能訓練指導員 4名（非常勤・看護職兼務）

《目標に対する成果等》

- 利用者および介護者の意思を尊重し活動プログラムを工夫する。
- 通所介護計画を工夫するとともに、レクリエーションプログラムを多様化し実施する。
- 信頼される介護技術、知識を身につけるためケース検討や介護技術の勉強会を実施する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ブンネメソッドを取り入れ音楽を通じた介護予防に取り組んでいる。
- 概ね月に1度地域ボランティアの協力を得てイベント開催している。
- 個人情報保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真摯に受け止め改善に努める。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
77	76	66	59	60	56
10月	11月	12月	1月	2月	3月
60	63	40	46	38	46

平成30年度 自主事業収支報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい	①地域	34,323	地活	9,700			34,323		
	②10名程度		包括						24,623
	③200円		介護						
	イベント時500円		生活						
出前講座	①地域	7,000	地活						
	②会場による		包括						7,000
			介護						
			生活						
男のキッチン	①高齢者	1,000	地活						
			包括						1,000
			介護						
			生活						
エリア連絡会	①介護保険事業者	2,473	地活						
	②30名程度		包括						2,473
			介護						
			生活						
出張相談会	①地域	3,000	地活						
	②人数制限なし		包括						3,000
			介護						
			生活						
まるっとプロジェクト	①地域	86,778	地活	35,600	6,836	10,000	75,642	1,136	
	②講座30名程度		包括						44,342
	カフェ30名程度		介護						
			生活						
ウォーキング ガイドマップ	①高齢者	3,866	地活				3,866		
	②15名		包括						3,866
			介護						
			生活						
アート講座	①地域	15,501	地活	2,200	909	8,000	1,720	5,781	
	②10名程度		包括						12,392
	③200円		介護						
			生活						
認知症ミニフォーラム	①地域	85,818	地活		25,000	50,000	35,818		
	②50名		包括						60,818
			介護						
			生活						
ケアマネサロン	①介護保険事業所	556	地活				556		
	②10名程度		包括						5,560
			介護						
			生活						
地域ケア会議	①地域	9,692	地活				9,692		
	②15名～25名		包括						9,692
			介護						
			生活						
親子体操 ころころパンダ	①乳幼児と養育者	167,050	地活	150,000	17,050	150,000		17,050	
	②15組		包括						
	③2,400円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
遊びのおもちゃランド	①乳幼児と養育者	45,881	地活	20,317	24,200	1,364	12,000	32,517	1,364
	②25組		包括						
	③200円		介護						
			生活						
生き生きクラブ	①地域	10,226	地活	10,226					10,226
			包括						
			介護						
			生活						
アフリカダンスくらぶ	①障害児・者	46,000	地活	34,500	11,500			46,000	
	②25組		包括						
	③500円		介護						
			生活						
育メン講座	①乳幼児と父親	6,682	地活	6,000		682	6,000		682
	②5組		包括						
			介護						
			生活						
のびのびすくすく こころ育て講座	①乳幼児と養育者	7,151	地活	7,151				4,151	3,000
			包括						
			介護						
			生活						
東山田 ボランティア友の会	①地域	8,000	地活	8,000				8,000	
			包括						
			介護						
			生活						
1番素敵なアートをみつけよう	①障害児	76,950	地活	55,424	15,500	6,026	53,000	15,261	8,689
	②5名		包括						
	③500円		介護						
			生活						
アロマ教室	①地域	12,628	地活	3,060	9,000	568	5,000	7,060	568
	②10名		包括						
	③1000円		介護						
			生活						
お掃除ボランティア	①貸館団体	3,074	地活	3,074					3,074
	②30名		包括						
			介護						
			生活						
東山田 連合町内会納涼盆踊	①こども	51,979	地活	5,509		46,470		51,979	
			包括						
			介護						
			生活						
立ち寄り場・認知症カフェ(チエコ村)	①地域	6,976	地活	6,976				6,976	
	②10名程度		包括						
			介護						
			生活						
子どもも大人もボランティア1日体験講座	①地域	231	地活	231				231	
	②10名程度		包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアプラギャラリー	①地域	1324	地活	1324				124	
			包括						
			介護						
			生活						
障害者ポスティングボランティア	①障害者	6425	地活	6425					6425
			包括						
			介護						
			生活						
子育てボランティア交流会	①地域	6389	地活	6389				6389	
			包括						
			介護						
			生活						
貸館団体交流会	①貸館団体	1800	地活	1800				1800	
			包括						
			介護						
			生活						
インフォーマルサービスリスト	①高齢者・事業所	37530	地活						
			包括						
			介護						
			生活	37530					37530
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	【目的】 ①介護者のストレスを発散し、虐待防止 ②介護者の負担軽減 ③介護者の仲間作り ④介護知識の習得 ⑤ケアプラザの周知、情報提供 【内容】 茶話会6月は介護技術講座	1回/月 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	【目的】 ①介護予防普及啓発 ②認知症普及啓発 ③相談受付 ④虐待疑い等見守り ⑤顔の見える関係づくり 【内容】 地域で実施されるカフェ、サロンに参加しミニ講座等実施 (体操あり) 定期的：認知症カフェコツコツ、ハーモニー 不定期：地域のサロン。カフェ、老人会等	定期 1回/月 12回開催 不定期 地域からの要時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のキッチン	【目的】 ①介護予防普及啓発 ②認知症普及啓発 ③相談受付 【内容】 地域で実施されている男性料理教室のモニタリング（元気 つくりステーション）および介護予防講座の実施	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エリア連絡会	【目的】 ①地域包括ケアシステムの構築 ②事業所間の顔の見える関係づくり ③サービスの質の向上 【内容】 エリアにある介護保険事業所に集ってもらい研修実施、 グループミーティング等を実施。	1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談会	【目的】 ①ケアプラザから離れたエリアでの相談会 すみれが丘地区及び南山田町地区 【内容】 出張相談会の実施南山田地区は1月から開催	各エリア1回/月 15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まるっとプロジェクト	【目的】 ①誰もが住みやすい地域を考える機会づくり（講座） ②障害について理解を深めるきっかけづくり（講座） ③顔の見える関係づくり（カフェ） 【内容】 都筑区のまるっとプロジェクトの協力をえて障害講座と月に1度のカフェを実施。	講座 3回で1コース カフェ 6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキングガイドマップ	【目的】 ①介護予防 ②既存するノルディックウォーキンググループの参加率向上 【内容】 ウォーキング講座の実施	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アート講座	【目的】 ①介護予防 ②地域の子どもその養育者と高齢者の交流の場づくり 【内容】 石を使ったアート講座	1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症 ミニフォーラム	【目的】 ①認知症普及啓発 ②地域活動のきっかけづくり 【内容】 認知症および地域活動に関する講座	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	【目的】 ①地域のケアマネジャーとの情報交換の場 ②協力医への相談の場 ③サービスの質の向上 【内容】 茶話会	1回/年 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】 ①ニーズの把握と課題解決のアイデア出しを地域住民と実施する場づくり ②顔の見える関係づくり 【内容】 会議	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子体操 ころころパンダ	【目的】 ①養育者の仲間作り ②子育てのストレス発散 ③親と子のスキンシップを用いた絆づくりの場の提供 ④ケアプラザの周知 【内容】 親子体操 1歳児クラス 親子体操 2.3歳児クラス 体験会	1回/月 12回実施×2クラス =24回 体験会 1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お掃除ボランティア	<p>【目的】 ①ボランティア活動の促進 ②ケアプラザを自分達の活動場所として長く使ってもらえるように環境整備</p> <p>【内容】 ・毎年 6月と12月の年2回ケアプラザの大掃除を開催。</p>	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東山田連合町内会納涼盆踊り	<p>【目的】 ①ケアプラザの周知 ②地域との顔の見える関係作り</p> <p>【内容】 東山田連合町内会の納涼盆踊りにてお面や駄菓子屋の出店 地域の子ども達に夏休みのひとときを満喫してもらう</p>	1回/年 8月第1週目の金曜、土曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
立ち寄り場・認知症カフェ (チェコ村)	<p>【目的】 世代間交流 認知症普及啓発</p> <p>【内容】 アロマトリートメントと認知症と香りのミニ講座</p>	1回/年 (8月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもも大人もボランティア1日体験講座	<p>【目的】 ①ボランティア体験をしてもらい、ボランティアや福祉に興味をもってもらう ②ケアプラザの周知 ③ケアプラザで活動するボランティア団体の周知</p> <p>【内容】 ・夏休みの期間に、ボランティア体験講座を行いボランティアへの意識付けや福祉教育への興味喚起を行う。</p>	夏休み期間中

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
遊びのおもちゃランド	【目的】 ①養育者の仲間作り ②子育てのストレス発散 ③親と子のスキンシップを用いた絆づくりの場の提供 ④ケアプラザの周知 【内容】 30分のイベントの後、自由遊び	1回/月 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生き生きクラブ	【目的】 ①介護保険法で対象にならない、生活に必要なサービス提供を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように支援する ②顔の見える関係づくり ③高齢者の生きがいづくり 【内容】 ・高齢者などの日常生活での困りごとを支援する。（庭木の剪定・電球の取り替えなど） ・毎月第1土曜日に定例会を開催し、情報共有。 ・介護予防のために社交ダンスやカラオケ教室等の立ち上げ。 ・ケアプラザの庭木の剪定や浴槽	定例会 1回/月＝12回 活動 依頼時のため不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アフリカンダンスくらぶ	【目的】 ①障害児・者の活動の場の提供 ②養育者の交流の場 【内容】 アフリカンダンスの実施	概ね1回/月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
育メン講座	【目的】 ①子育て家庭の支援 ②父親の育児参加へのきっかけづくり ③父親育児支援を通して男性の地域へのつながりの場のきっかけづくり ④ケアプラザの周知 【内容】 ・NPO法人全日本育児普及協会の講師による講座と、自主事業「ころころぱんだ」の講師による親子体操	1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のびのびすくすく こころ育て講座	【目的】 ①養育者の仲間作り ②子育てのストレス発散 ③親と子のスキンシップを用いた絆づくりの場の提供 ④ケアプラザの周知 【内容】 ヘルスメイトによるおやつづくり講座 保育士によるおもちゃづくりと遊びの場	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東山田 ボランティア友 の会	【目的】 ボランティア同士の交流会 ②ボランティア活動の活発に行われる風土づくり ③ボランティア支援 ④新たな担い手の育成 【内容】 ①毎月の委員会の実施 ②地域向けDIY講座 ③包括の共催で認知症ミニフォーラム	定例会=12回 DIY講座=1回/年 フォーラム=1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一番素敵なアートを を見つけよう	【目的】 ①アートをとおした障害児の地域活動の参加促進 ②保護者同士の交流の場 ③ケアプラザが福祉の総合的な窓口であることの周知 ④地域資源との連携 ⑤子ども同士の交流 【内容】 ①アート講座 ②養育者の茶話会 ③スマイルコレクションへの参加 ④凸凹コマの参加	5回/年 スマイルコレクション 1回/年 凸凹コマ=1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマ教室	【目的】 世代間交流 認知症普及啓発 【内容】 ポマンダーづくりと認知症と香りのミニ講座	1回/年 (12月開催)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラギャラリー	【目的】 ①地域で行われている活動の紹介 ②発表の場の提供 ③顔の見える関係づくり ④新しい活動のきっかけづくり ⑤ケアプラザの周知 【内容】 ・毎月地域の団体・個人の作品を廊下部分に飾る。利用者の知人などケアプラザに来られたことのない方にお声かけもし、いろいろな方の作品を飾る。	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者ポスティングボランティア	【目的】 ①障害者の就労支援のきっかけ ②外出の機会 ③ケアプラザの周知 【内容】 ・毎月1回、ララヒルズへポスティングしてもらう。 仕上がったチラシをポスティングしやすいように折り込み、日程を決めてポスティングの実施	毎月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てボランティア交流会	【目的】 ①ボランティア活動の促進 ②情報交換 【内容】 普段子育て支援事業においてボランティア活動をしている活動者に集ってもらい、情報交換や悩みごとないか、地域の状況について、意見交換。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体交流会	【目的】 ①ボランティア、貸館団体同士の顔の見える関係作り ②貸館利用上の注意点のお知らせ ③ニーズ把握 ④悩みごとの共有、情報交換 【内容】 活動報告と貸館利用の注意点の説明	1回/年